

大会名称: 第23回FIBA ASIA U-18男子バスケットボール選手権大会

開催場所: Al Gharafa Sports Club (カタール・ドーハ)

試合区分: No. 115 男子 予選ラウンド・グループD コミッショナー: SORIA Daniel Danilo

期 日: 2014(H26)年8月21日 (木)

主審: HWANG Intae

開始時間: 13:00

副審: AL-HEBABI Khalid Mohammed, YANTE Reynaldo

終了時間: 14:35

日本 (通算2勝1敗)	● 75	25 -1st- 22 11 -2nd- 16 19 -3rd- 29 20 -4th- 17 -OT1- -OT2- -OT3-	○ 84	チャイニーズ・タイペイ (通算3勝0敗)
----------------	---------	---	---------	-------------------------

第23回FIBA ASIA U-18男子バスケットボール選手権大会。1次リーグ最終戦、日本は、チャイニーズ・タイペイと対戦。共に2勝どうし、Dグループ1位を賭けての対戦。

第1ピリオド

両チームマンツーマンディフェンスでスタート。日本は、#8内田がジャンプシュートを決め、先制。チャイニーズ・タイペイは#4Linがドリブルで切れ込みすぐさま取り返すが、日本は#13渡辺、#4津山、#8内田が連続ゴールを決める。チャイニーズ・タイペイは日本のディフェンスにシュートチャンスが作れず得点が伸びない。開始3分、ファーストブレイクから#8内田がドリブル突破し得点。11-2となったところでチャイニーズ・タイペイがタイムアウト。タイムアウトが明けるとベンチスタートの#12Tsengが連続で得点をし、徐々に差を縮める。残り3分、18-11日本7点リードのところ、日本のターンオーバーからチャイニーズ・タイペイ#9Hsuに連続得点を許し18-15となる。しかし日本は#13渡辺、#9青木、#8内田が得点し、再び25-17とリードを広げる。チャイニーズ・タイペイは、リバウンドで粘り差を縮め、25-22と日本3点リードで終了。

第2ピリオド

日本はディフェンスをトライアングルツーマンに変えて仕掛ける。うまく機能しチャイニーズ・タイペイは攻めあぐむも日本も得点が伸びない。開始5分過ぎに日本は#15三上が24秒ギリギリで得点し31-28となるが、その後しばらく得点差3点のまま膠着状態が続く。すると先に仕掛けたのは、チャイニーズ・タイペイ。3ガードでトランディションを早くすると、日本はマンツーマンにディフェンスを変え対抗。残り4分、31-29、日本2点リードからチャイニーズ・タイペイ#6Tuが3Pを決めて31-32とし、このゲームチャイニーズ・タイペイが初めてリードする。ここからは互いに譲らずゲームは進む。残り1分21秒、34-33、日本1点リードからチャイニーズ・タイペイ#7Tsengが3P、続けて#4Linがジャンプシュートを決めて34-38となる。残り13秒、日本ボールで#4津山のドライブインによる得点で返し、36-38で前半を終了する。

第3ピリオド

日本はマッチアップゾーンとマンツーマン、チャイニーズ・タイペイはハーフコートマンツーマンをベースにオールコートの2-2-1のゾーンプレスとマンツーマンを併用する。開始早々日本は#13渡辺が#7富田のシュートのこぼれ玉を押し込んで同点とする。しかしチャイニーズ・タイペイ#7Tsengがすぐさま取り返し、そこから日本#13渡辺の3つ目のファールを誘い、フリースローを2本決める。さらに3Pを決め、流れはチャイニーズ・タイペイかと思われた。しかし日本はこの大会好調の#15三上が連続得点し追いつく。その後は、一進一退の攻防が続くが、残り1分20秒を切ると、ここからチャイニーズ・タイペイは#10Sunがドライブインからファールをもらいフリースローを2本決め、さらに#4Linが3P、#7Tsengがドリブルから得点し一気に差を広げられ、55-67とチャイニーズ・タイペイ12点リードで終了。

第4ピリオド

日本は、何とか得点差を縮めようと必死のディフェンスでチャンスを狙う。#4津山、#13渡辺が得点するもチャイニーズ・タイペイ#12Tsengが連続得点をして日本に流れを渡さない。しかしその後は気持ちが焦りシュートが入らない。残り4分日本は、67-76と10点リードされたところで後半2回目のタイムアウトを取る。そこからオールコートの1-2-1-1を仕掛ける。しかしチャイニーズ・タイペイは落ち着いてボールを運び、ミスをしなない。残り2分56秒、69-78、チャイニーズ・タイペイ9点リードのところ日本は3回目のタイムアウト。その後もディフェンスで粘るが、チャイニーズ・タイペイ#7Tsengに得点を許し、69-80。日本は#15三上が連続で3Pを決めて75-80と5点差に詰め寄る。残り2分をきり、ここからチャイニーズ・タイペイ#4Linのドリブルストップジャンプシュート、そして#7Tsengが1on1で再びリードを広げられ、そのままタイムアップ。75-84でチャイニーズ・タイペイに敗れた。日本は、1次リーグDグループ2位で終了となった。

次戦より第2ラウンド。8月22日(水) 11:00(現地時間)より、カザフスタンと対戦する。

担当: 公益財団法人日本バスケットボール協会